

日々の児童の様子を学校ホームページにアップしています。ぜひ、ご覧ください。

とちのき通信

NO.3 (令和7年6月20日)

宇都宮市立雀宮中央小学校

発行責任者 細井三知代

目指す児童像

明るく元気でがんばる子ども (元気)

進んで学びよく考える子ども (やる気)

心豊かで思いやりのある子ども (思いやり)

合言葉「元気 やる気 思いやりのある 雀央っ子」



学校ホームページ

雨の季節となりました。本校では、昼休みに1人1台端末(パソコン)を使って過ごせる学習関連のソフトを集めた「雨の日セット」というものがあります。また、パソコンを使うだけでなく、教室で絵を描いたり友達と話したりする子、図書室で本を読む子もいます。

とはいえ、「梅雨はどこへやら」という暑い毎日です。朝、登校してきた子供たちは既に疲れている様子です。熱中症等に気を付けながら学校生活を送れるよう、指導・支援していきたいと思います。

登下校を見守ってくださる皆様との対面式を行いました

5月19日(月)、日々の登下校を見守ってくださっている方々と児童の対面式が行われました。

交通指導員の小林雅則様には国道4号線と家塚街道の交差点で、木村貞夫様には上御田の踏切で、遠藤繁春様には雀宮郵便局近くの横断歩道で毎朝ご指導いただいています。スクールガードチーフの松本節昭様は、毎日、早朝から学校南のセブンイレブン前交差点に立ち、本校の児童はもちろんのこと、通勤・通学の皆さんなども含めた地域の安全確保のボランティアをしてくださっています。

登校時見守り活動ボランティアの皆様は、児童の安全確保のためご尽力くださっています。代表の天谷宏様には、活動の取りまとめや連絡をお願いしています。また、見守り活動ボランティアの皆様には、下校時の見守りでもお世話になっています。いつも本当にありがとうございます。

2年生・5年生 田植え

5月16日(金)に、田植えがありました。2年生は生活科「田んぼへ行こう」、5年生は総合的な学習の時間「米作りをしよう」の単元があり、本校では毎年、2・5学年合同で米作りの農業体験をおこなっています。地域にお住いの大塚様に苗や田んぼの準備をしていただき、植え方も教えていただきました。

今年は特別に、機械で苗を植えるところを見せていただきました。子供たちからは「おっ！」という歓声が上がり、1列植えたところで大きな拍手が起こっていました。

地域の人的・物的資源を活用し、このような体験学習ができることは素晴らしいことです。雀央小の子供たちは幸せです。子供たちの指導・支援をしてくださった大塚様、地域協議会長の篠崎様、地域ボランティアの皆様、たくさん来てくださった保護者ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。



6月6日は創立記念日です

放送による朝会をおこない、校長から雀央小の歴史などについて話をしました。内容は以下の通りです。

今日6月6日は雀宮中央小学校の創立記念日、つまり学校ができた日、学校の誕生日です。今日で雀宮中央小学校は152歳です。152年前の今日、正光寺というお寺を借りて、「日新舎」という名前で学校が始まりました。それから36年後の明治42年に、たくさんの人々の努力で、当時としては大変立派な校舎が完成しました。その頃の校舎は木でできていました。写真が雀央ブリッジにありますので、みなさんも見たことがあるでしょう。そして、鉄筋コンクリート4階建ての校舎ができたのは昭和57年、学校が109歳の時です。これが今、皆さんが毎日を過ごしている校舎です。

次に、学校の名前についてです。先ほど話したように、初めは「日新舎」という名前でした。そのあと、雀宮村立雀宮尋常小学校、雀宮村立雀宮尋常高等小学校、雀宮村立雀宮国民学校、雀宮村立中央小学校、雀宮町立中央小学校と名前が変わり、今の宇都宮市立雀宮中央小学校という名前になったのは、昭和30年、学校が82歳の時のことです。「雀宮尋常高等小学校」のときに門として使われていたものでしょうか、学校の名前が彫られた石の柱が校庭の鉄棒の近くに今も残っています。ぜひ、探してみてくださいね。

卒業生の数は、この間の3月に卒業した人たちを入れて12,069人です。この150年以上の歴史の上に今私たちがいるというのは、素晴らしいことです。雀宮中央小学校の長い歴史と伝統を受け継いでいると考え、責任の大きさも感じますね。私たちの雀央小が、これから先もずっと良い学校でいられるようにするには、どうしたらよいでしょうか。一人一人が自分には何ができるのかを考えてみてください。

子育てに悩んだら、一人で考えずに相談を！①

「勉強についていけない」「友達とうまく付き合えない」「すぐにカッとなる」「暴言を吐いたり暴力を振るったりしてしまう」「感情のコントロールがうまくできない」など、子供のことで親としては様々な心配事があるものです。悩んだ時には一人で抱え込まず、外部の専門機関に相談することも大切です。

外部の専門機関と聞くと「そんな大げさな？」と思うかもしれませんが、まず身近なところで、かかりつけの小児科に相談してみることをお勧めしています。

大事なのは、親の考え（見栄・プライド・世間体）よりも本人の気持ちです。上記のような様子が見られるとすれば、一番困っているのは本人なのです。この本人の困難さをそのままにしておけば、今だけでなく今後の「人生」にまで影響が及んでいきます。困難さに対応するのはなるべく小さいうちの方がよいと言われます。この先何十年も社会で生きていくのは子供本人です。子供のことを中心に据えて考えてみませんか？

放課後の過ごし方について、ご家庭で確認をお願いします

先日、学区内にお住まいの方からお叱りをいただきました。下記のような状況とのことです。近隣の方のご迷惑になるような行為はしないよう、ご家庭でもお話しくださいますようお願いいたします。

- ・道路でボール遊びをする（ボールが車に当たる）
- ・道路の真ん中でスケートボード等に乗る
- ・他人の家の塀に登る
- ・他人の家の敷地に入り込む
- ・自転車の危険運転をする（車の走行妨害）
- ・集団で広がって道路を占拠する

人の迷惑になる
ことはしない！

